

2025年度 北見藤高等学校シラバス

【教科】 【科目】	〔家庭科〕【家庭基礎】	1 年	2 単位	教科書	Creative Living 『家庭基礎』で生活をつくらう	副教材等	Creative Living 『家庭基礎』で生活をつくらう 学習ノート	履修対象・ 使用教室 等	1 学年総合	
教科・ 科目の 目標	人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活などに関する基礎的・基本的な知識と技術を習得させ、家庭や地域の生活課題を主体的に解決するとともに、生活の充実向上を図る能力と実践的な態度を育てる。（１）人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活・環境などについて、生活を主体的に営むために必要な基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。（２）家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなど、生涯を見通して課題を解決する力を養う。（３）様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、地域社会に参画しようするとともに、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図ろうとする実践的な態度を養う。									
評価 の 観点	知識・技能			思考・判断・表現			主体的に学習に取り組む態度			
	各ライフステージの課題を達成しながら、生活の営みに必要な知識の定着がなされている。人の一生という時間の経過の中で、金銭、生活時間、人間関係などの生活資源や、衣食住、保育、消費などの生活活動が相互に関連されているものと理解している。			人間の生涯にわたる発達と生活の営みを総合的にとらえ、家族・家庭の意義、家族・家庭と社会とのかわりについて理解している。生活に必要な知識と技術を実践的に習得している。			男女が協力して主体的に家庭や地域の生活を創造する能力と実践的な態度が育成されている。自分の考え方に根拠があり、自分の言葉で説明することができる。授業プリントの整理整頓をし、丁寧に自己管理がなされている。			
評価 方法	＊単元などの授業内容のまとまりごとに「評価の観点」に基づいた観点別評価を行い、【A:「十分満足できる」状況 B:「概ね満足できる」状況 C:「努力を要する」状況】とする。 ＊単元などの観点別評価に基づいて、学習全体の総括的な評価を行ったものを「５段階の評定」とする。									
評価 資料・ 評価 比重 【100点換算】	評価資料等		予定回数・内容等				知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
	単元テスト		4回・2単元まとめて50点満点				100	－	－	
	レポート作成		2 回ほど・iPadを使用				－	50	10	
	ワーク点検		年 6 回程度・ワークを点検予定				－	－	80	
	制作・実習		1 回				－	50	10	
(観点別配分%)		(３観点の比重を%で示しています)								
月進行 【計画】	【単元名】 学習項目名	配当 時間 【計画】	学習内容・目標（到達点） など				主な評価資料		評価の重み付け【○●】	
							知・技	思・判・表	態度	
4	第 2 章 青年期の課題と自立	8	自分の生活と自分自身について自己理解を深める。青年期の発達課題を達成するための生き方を考える。青年期は自己実現に向けて生きていくため自立した生活を営むための準備をする時期であることを理解する。				人生すごろく		●	
							ワーク点検			●
							単元テスト	●		
5	第 3 章 家族・家庭生活のマネジメント	8	「家族」の定義を理解する。家族と世帯について理解し現代の家族の特徴と社会との関わりについて理解する。家族関係から生じる問題について知り、その解決方法について考え必要な力を身につける。家族・家庭に関する法律を理解し制度としての家族について考える。				ワーク点検			●
							単元テスト	●		
6 7	第 9 章 食生活のマネジメント	12	現代の食生活の問題点について、生徒各自の現在の食生活の問題点を把握して、自らの食生活について多面的に考える力を養う。日本および近隣諸国や世界の食環境問題について広く問題提起し話し合い、自分自身の問題として捉える姿勢を身につける。				調理実習		●	○
							ワーク点検			●
							単元テスト	●		
8 9	第 7 章 持続可能な社会をつくる	8	日々行なっている生活の行為が環境へ負荷を及ぼしていることを理解する。資源を循環させる必要性和その方法を知る。SDGsについて理解し、一人ひとりの行動変容こそが大きな解決の力になることを理解する。持続可能な社会を実現するために必要な法律や制度について理解する。				レポート		●	○
							ワーク点検			●
							単元テスト	●		
10 11	第 4 章 子どもの生活と子育てのマネジメント	10	胎児の成長・発達には、母体の健康管理が必要であることを理解する。新生児期・乳児期の子どもの体と心の発達を細かく知るとともに、発達とはそれらの総合的なものであることを理解する。世界や日本の子どもを取り巻く問題を知り、その解決方法を考える。				レポート		●	○
							ワーク点検			●
							単元テスト	●		
12	第 1 0 章 衣生活のマネジメント	8	衣文化の成り立ちを知り、その変化の過程と現状衣生活との関係を知る。被服材料の種類、性能、性能向上のための各種加工法を知る。洗濯の目的と方法、洗剤の種類と働きを理解する。被服の収納の方法を工夫し、実践する態度を養う。				ワーク点検			●
							単元テスト	●		
							刺し子布巾の製作		●	○
1	第 8 章 経済生活のマネジメント	8	経済的自立について理解する。労働の基本は、時間の対価として報酬を得ることであるが、労働に期待することは人それぞれであり、将来就きたい仕事と結びつけながら自分なりの労働観をまとめていく。労働に関する契約や条件について知る。家計を中心とした経済の循環を知る。				レポート		●	○
							ワーク点検			●
							単元テスト	●		
2 3	第 1 1 章 住生活のマネジメント	8	住生活の成り立ちを知り、気候風土により、住まいが地域によって異なる特徴を持って発展してきたことを理解する。ライフスタイルやライフステージによって住空間に対する家族の要求が異なることを理解し、住まいへの要求に合った住まいのあり方を考える。				平面図		●	○
							ワーク点検			●
							単元テスト	●		
学習の アドバイス	○単元テストでは50点満点中40点をを目指すこと。 ○レポートは用紙を埋めること。内容をきちんと理解し、丁寧に完成させること。 ○授業内でホワイトボードに書かれたことは全て綺麗な字でワークに書き写すこと。点検します。									